

【様式1】

概要書

<p>研究名</p>	<p>建築構造物のモニタリング技術を活用した計測技術の開発</p>
<p>民間機関等 (相手方)の名称</p>	<p>(株) フジ設計</p>
<p>研究の概要</p>	<p>建築構造物のモニタリング技術とは、構造物にセンサを設置して振動等の物理量を観測し（センシング）、様々な信号処理手法を駆使して、蓄積された損傷や劣化の発生箇所及び度合いについて動的に診断し、今後の進展状況について予測する技術（診断・予測）である。新築・既存の構造物に、センサを設置し、応答波形から構造性能を診断する。小さな地震や常時微動による応答を活用した性能診断や、大地震や台風など損傷の発生する可能性のある場合に損傷程度の推定を自動的に行うなどが代表的な仕組みである。長い期間データを蓄積することによって、経年劣化の把握に用いることもできる。</p>